

大阪府指定出資法人への人的関与の再点検に関する意見書（項目イメージ）

令和元年7月 大阪府指定出資法人評価等審議会

1 再点検の経緯・視点

(1) 今回の再点検の経緯等

大阪府指定出資法人への人的関与の再点検については、法人を取り巻く社会情勢等の変化により、法人と府の役割はもとより、法人が抱える課題等に大きな変化が生じることが想定されることから、当審議会において、一定の期間（概ね3年間）ごとに、人的関与の継続の要否を確認しており、平成28年7月には、府が関与する16法人23ポストについての再点検に関する意見書をとりまとめた。今回の再点検については、前回再点検の時期より、概ね3年が経過したことから、前回審議会意見書を踏まえ、再度の点検を実施するものである。

【今回再点検の経過】

第1回（令和元年6月11日）

- 個別審議・一括審議ポストの仕分けについて審議

第2回（令和元年6月20日）

- 個別審議ポストの法人所管部局に対するヒアリング・質疑（2法人3ポスト）

第3回（令和元年6月25日）

- 個別審議ポストの法人所管部局に対するヒアリング・質疑（3法人3ポスト）

第4回（令和元年7月16日）

- 審議会意見のとりまとめに向けた審議

第5回（令和元年7月30日）

- 「大阪府指定出資法人への人的関与の再点検に関する意見書」の成案に係る審議

(2) 再点検の視点

再点検にあたっては、「法人の持つ公共的な使命や、経営状況の悪化により府民負担が増大することがないかなど、法人が抱える課題や役員に課せられた責務を踏まえ、本当に府関係者が法人の役員に就任する必要があるのかどうか、府民目線により必要性の検討を行う」という、これまでの再点検の視点により審議を行った。

また、ヒアリングにあたっては、法人としての「取り組むべき課題の重要性」及び「法人課題と対象役員の職務との関連性」を中心に、「府の人的関与の必要性」について慎重に検討を行い、最終的に以下のとおり、審議会として意見をとりまとめたところである。

2 再点検の結果

前述の視点に立ち、対象である16法人23ポストについて再点検を行った結果は、次のとおりである。

- (1) 人的関与の必要性が認められる（役員ポストに、引き続き府関係者を就任させる理由が認められる）としたものは、〇〇ポスト
- (2) 人的関与の必要性が条件付きで認められる（役員ポストに、引き続き府関係者を就任させるにあたり、期限等条件を附して認められる）としたものは、〇〇ポスト
- (3) 人的関与の必要性が認められない（役員ポストに、引き続き府関係者を就任させる積極的理由が認められず、官民同時公募により最適な者を選任又は当該役員ポストの設置を見直すべき）としたものは、〇〇ポスト

※再点検による個別ポストごとの審議会意見については、別添資料を参照

審議会意見内容